

発行所
 東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部
 東京都武蔵野市八幡町3-7-10
 電話 0422(55)3200
 Fax 0422(55)9718
 発行責任者 升川 明



10・11月の主な日程
 18日(日) 子どもまつり
 27日(火) 大手企業交渉
 ※駅宣 22・23日
 4日(水) 書記局会議
 ※事務所が閉まります
 5日(木) 常任執行委員会
 6日(金) 執行委員会
 8日(日) ワークスクール
 22日(日) 普通救命講習
 23日(月祝) 集団健診
 25日(水) 予算要求集会
 ※事務所が閉まります

福島を元気に

はじめて支部で復興支援に取りくむ

来年も来てねとリクエストも

「本当にありがとう、孫がすごく楽しかったと喜んでくれたわ。気を付けて東京に帰ってきてほしい」と、片づけを終え、帰り支度をしていた私たちに声を掛けてくれた人がいました。

三鷹武蔵野支部として、5年目の秋を迎える東日本大震災の復興、そしていまだ原発事故の終息のめどもたっていない福島県において、復興支援ボランティアを10月4日(日)、福島県の小名浜にある三崎公園で行いました。今回の復興支援ボランティアは、福島県の原発訴訟団の代表を務める伊藤さん(主催の医療生協の理事長)に、『私たちが福島

の復興支援で出来ることはないでしょうか』との話し合いのなかで、提案された浜通り医療生協のお祭りのボランティアで、巨大ホットケーキ(130食)・工作教室(117人)を、総勢38人の参加者で行いました。

巨大ホットケーキには、焼いている時から多くの人だかりができ、「すごい大きい」「どうやって反対を焼くの」など、興味津々。巨大な鉄板を2枚合わせて一気にひっくり返し、焼けた面をみた人たちは、拍手喝采でした。そして、焼き上がったホットケーキには、150人ほどの列ができ、「おいしい」「来年も食べたい」「ごちそうさまでした」などの声を多くいただきました。

また、工作教室も列ができるほどの好評で、「木の匂いのするいいものがあった」「素敵」など、子どもから大人まで、素敵な笑顔が見られました。

主催者である医療生協の伊藤理事長に、渡辺書記長から「今回のボランティアに際して、仲間から募金をお願いして集めました。復興・原発訴訟に役立ててください」と手渡しました。

伊藤理事長から「東京土建さんのコーナーは、話題になっていきます。30人を超える方々が参加していただいたこと、そして募金までしていただいたことに本当に感謝しています。」と、目を熱くしながら感謝していただきました。

今回のボランティアに参加した組合員・家族のみならず、こうしたボランティア活動がはじめてでしたが「大変だったがあれだけ行列が出来るとうれしい」「多くの方から感謝された」ということもあり、「やったかいがあった」と感想が寄せられました。

復興支援のボランティアには、様々なことがあると思います。私たちが出来ることで、支援ができたことは、福島島の仮設住宅や地域の方々に喜んでもらえただけでなく、私たちも福島の人々に元気をもらった1日になりました。

追記・ステージでもフラダンスやサンバ、原発被災地の檜葉の方々のよさこいなどが、行われていたほか、北は青森、南は沖縄から参加があり、お祭りを盛り上げるだけでなく、本場の復興を訴えていました。

もし、1泊できるのであれば、ボランティアの前日に、原発による福島の被災地や仮設住宅などを視察し、地震による被害だけでなく、原発事故が福島を変えてしまった現状を参加者が共有してボランティアに参加することができれば、あのお祭りに来ていた仮設住宅に住んでいる来場者(仮設住宅にバスを出していた)をはじめとして、福島の人たちの思いを少しでも共有できたのではないかと思います。

追記・ステージでもフラダンスやサンバ、原発被災地の檜葉の方々のよさこいなどが、行われていたほか、北は青森、南は沖縄から参加があり、お祭りを盛り上げるだけでなく、本場の復興を訴えていました。

もし、1泊できるのであれば、ボランティアの前日に、原発による福島の被災地や仮設住宅などを視察し、地震による被害だけでなく、原発事故が福島を変えてしまった現状を参加者が共有してボランティアに参加することができれば、あのお祭りに来ていた仮設住宅に住んでいる来場者(仮設住宅にバスを出していた)をはじめとして、福島の人たちの思いを少しでも共有できたのではないかと思います。

追記・ステージでもフラダンスやサンバ、原発被災地の檜葉の方々のよさこいなどが、行われていたほか、北は青森、南は沖縄から参加があり、お祭りを盛り上げるだけでなく、本場の復興を訴えていました。

もし、1泊できるのであれば、ボランティアの前日に、原発による福島の被災地や仮設住宅などを視察し、地震による被害だけでなく、原発事故が福島を変えてしまった現状を参加者が共有してボランティアに参加することができれば、あのお祭りに来ていた仮設住宅に住んでいる来場者(仮設住宅にバスを出していた)をはじめとして、福島の人たちの思いを少しでも共有できたのではないかと思います。

追記・ステージでもフラダンスやサンバ、原発被災地の檜葉の方々のよさこいなどが、行われていたほか、北は青森、南は沖縄から参加があり、お祭りを盛り上げるだけでなく、本場の復興を訴えていました。

もし、1泊できるのであれば、ボランティアの前日に、原発による福島の被災地や仮設住宅などを視察し、地震による被害だけでなく、原発事故が福島を変えてしまった現状を参加者が共有してボランティアに参加することができれば、あのお祭りに来ていた仮設住宅に住んでいる来場者(仮設住宅にバスを出していた)をはじめとして、福島の人たちの思いを少しでも共有できたのではないかと思います。



巨大ホットケーキは大人気で150人が行列



伊藤理事長(左)に募金を渡す

また、工作教室も列ができるほどの好評で、「木の匂いのするいいものがあった」「素敵」など、子どもから大人まで、素敵な笑顔が見られました。

主催者である医療生協の伊藤理事長に、渡辺書記長から「今回のボランティアに際して、仲間から募金をお願いして集めました。復興・原発訴訟に役立ててください」と手渡しました。

伊藤理事長から「東京土建さんのコーナーは、話題になっていきます。30人を超える方々が参加していただいたこと、そして募金までしていただいたことに本当に感謝しています。」と、目を熱くしながら感謝していただきました。

今回のボランティアに参加した組合員・家族のみならず、こうしたボランティア活動がはじめてでしたが「大変だったがあれだけ行列が出来るとうれしい」「多くの方から感謝された」ということもあり、「やったかいがあった」と感想が寄せられました。

復興支援のボランティアには、様々なことがあると思います。私たちが出来ることで、支援ができたことは、福島島の仮設住宅や地域の方々に喜んでもらえただけでなく、私たちも福島の人々に元気をもらった1日になりました。

追記・ステージでもフラダンスやサンバ、原発被災地の檜葉の方々のよさこいなどが、行われていたほか、北は青森、南は沖縄から参加があり、お祭りを盛り上げるだけでなく、本場の復興を訴えていました。

もし、1泊できるのであれば、ボランティアの前日に、原発による福島の被災地や仮設住宅などを視察し、地震による被害だけでなく、原発事故が福島を変えてしまった現状を参加者が共有してボランティアに参加することができれば、あのお祭りに来ていた仮設住宅に住んでいる来場者(仮設住宅にバスを出していた)をはじめとして、福島の人たちの思いを少しでも共有できたのではないかと思います。



木工教室も行列が出来るほど大好評

年に1度は健診を

秋の集団健診・インフルエンザ予防接種

年に1度は、早期発見・早期治療を心がける健康診断の受診を。

【とき】11月23日(祝) 月 受付9時30分

【ところ】三鷹市公会堂 さんさん館

【申込期限】10月30日(金)または定員300人までとなります。

※申込書に記入し、分会

経由か支部まで申込みを。 ●基本健診は、本人・家族とも同じです。

●土建国保加入の本人・家族(19歳以上)は、基本健診は無料となります。

※オプショナル有料。 ●受診券は、保険証に付いてきます。当日、受診券とおプションを受診の方は費用をいただきます。

【とき】11月18日(水) 受付午後6時30分～ 8時45分

【ところ】三鷹市公会堂 さんさん館

【申込期限】10月30日または定員70人まで

【受診料】3780円 ※土建国保加入の74才までの方と、75才以上の組合員は補助があります。

※申込書に記入し、分会

雑記林

「アベ政治を許さない」のメッセーボードを胸に掲げるが、大声を上げるのもなく、まわりの群衆とは少し異なった存在、とでもいうのだろうか、制服姿の少女が「ひとりでの自らの意思でやってきた」という雰囲気をもたせて、そこに立っていた。高校生だろうか▼国会周辺での、この時の瞬間を写真に収めなければ、記録として残さなければ、撮った写真の意味する6・9行動(8月6日広島、8月9日長崎)にちなんだ6と9で、安全保障関連法案、いわゆる戦争法案に関する賛否を問うシーリング投票の際、部活動の帰り

だろうか、揃いの赤いジャケット姿の彼女たち、中学生だろうか、その彼女たちは、法案に反対と投票した。「だって、将来のどんなさんが戦場へ連れていかれるの、いやだもん」と▼たびたびこのコラムに登場するが、まさに「じいさんが言いだして、おっさんが実行し、若者が死んでいく」を実現しようとしている今日、私たち建設業で働くものは、「2度と戦争のための工事はしない」とした先輩たちの意思を受け継ぐべく、彼女たち市民と共闘しなければならぬ▼わけ知り顔で「もう決まっちゃんだからしょうがない」で、すまそうとしてはならない。そして9月19日を忘れない……。

W・Y



マイナンバーの保管を

この10月から順次、「通知カード」がお住まいの市区町村から郵送されます。

今後、東京土建国保(保険証・給付金が必要や、お勤めの場合)に会社への届出が必要となります。届いた「通知カード」は、大切に保管をしておきましょう。

※事業所向けの学習案内を2面の下段に記載。

活気あふれる中間決起

秋の月間目標達成に向けて

【渡辺義久書記長記】仲間を増やそうという取り組み、2か月におよぶ秋の拡大月間も中盤を迎えた9月27日(日)、三鷹市農業公園にて、中間決起集会(BBQ)を開催しました。



前半での行動「お疲れさまでした」と感謝するとともに、これから最後まで目標に向かって「がんばりましょう」と、バーベキューコンロを囲んでの交流会。心配されていた雨も降らず、9月下旬の天候にふさわしく、暑からず寒からずで、野外での催し物として、最高の日和でした。

午前中の「日曜行動」を各分会ともすませてのお昼12時開始。本部役員、朝倉副委員長、渡辺常駐常任のおふたりも駆けつけ、「後



大鉄板で焼きそばもみんな

国庫補助の概算満額確保はがきや集会にご協力を

東京土建国保をはじめとした国保組合の2016年度予算確保の取りくみは、7月から組合員・家族のみならずが奮闘されている厚労省八ガキ要請行動、そして予算要求集会などの運動をすすめるなかで、厚労省の概算要求は、2015年度予算を7.3億円減額されましたが2997億9千

万円の現行水準を確保しました。国保組合国庫補助の特徴で厚労省は、医療費の伸びを0.2%増(1人当たり医療費・前年度比338円増)を見込み、被保険者の減少を考慮したものと説明しています。また、医療改革法の成立を受けた所得の高い国保組合への補助の見



今年の夏の予算要求集会

同の意気込みの表明は、交流会を盛り上げました。サンマ・アワビなど、独自の食材を持参した分会や、組合未加入の仕事仲間を連れてきた分会、普段なかなか組合行事に参加できない20代、30代の若手組合員が参加した分会と、活気あふれるものでした。

参加は166人でした。

月間も後半戦に突入りしました。

この間、法人事業所からの加入が多くを占めていますが、独立して労災保険に

2015年度 秋の拡大月間の目標と到達

分会	1/1 現勢	秋の月間 3.5%目標	10/5現在 拡大数	秋の月間 目標残数
井の頭	39	2	0	2
牟礼	148	5	0	5
北野	123	4	1	3
新中	103	4	2	2
中原	104	4	1	3
新川	77	3	0	3
下連雀	104	4	2	2
上連雀	87	3	0	3
深大寺	119	4	1	3
大沢	122	4	1	3
吉祥寺	89	3	0	3
中町	62	2	1	1
武蔵野中央	304	11	11	0
関前	121	4	1	3
境	58	2	1	1
境南町	79	3	0	3
事業所	84	3	3	0
直属	530	18	6	12
合計	2353	83	31	52

入るためや、新規法人設立による土建国保と厚生年金の適用などもあります。この後半戦では、多くの組合員に訪問するとともに、仲間からの紹介をすめ、目標達成に向けた取り組みとしていきたいと思います。

まちの救助隊合併総会を開催 人命救助を第一に



金子隊長あいさつ

9月29日(火夜、三鷹市公会堂さんさん館)において、三鷹武蔵野支部・まちの救助隊「チームNAMAZU」の合併総会を開催しました。

総会前に、阪神淡路大震災で、工務店の職人さんによる人命救助のDVDを鑑賞。その後、金子隊長(支部執行委員長)から、支部の合併に伴って、救助隊もひとつになつての活動となりま

人命救助にありま

これから活動していくなかで、防災協定なども前進させてい



と、あいさつ。続いて五十嵐仕事対策部長より、合併の経過、中宿担当から活動について提案を行いました。今後、自治体や消防署など防災協定締結に向けて、そして災害時に私たち建設従事者が地域住民の救助

普通救命講習(3時間)

危険を伴う建設現場や、災害時などの初期対応として、「普通救命講習」を開催します。

【とき】 11月22日(日) 午前9時から正午まで

【ところ】 三鷹武蔵野支部会館3階会議室(武蔵野市八幡町3の7の10)

【講習費】 組合員・家族1000円、但しNAMAZU会員は無料(通常1400円)

当日キャンセルは、費用全額(1400円)

チームNAMAZU まちの救助隊の隊員募集

私たち東京土建三鷹武蔵野支部・まちの救助隊「チームNAMAZU」は、地域に住み、倒壊建物等から救出するのに必要な道具や技術を持っていて、建設技術者の組織であり、地域の後方支援として大きな役割を果たすことが求められています。各自自治体との災



害協定を結ぶためにも、ぜひ、「チームNAMAZU」のメンバーになってください。

以下の内容をご理解いただき、各支部をとおして登録してください。

大災害発生時に地域や自治体からの支援要請にできる範囲で協力をおねがいします。

心急仮設木造住宅の建設の要請があった際に、できる範囲での協力をお願いします。

登録された方は、東京都経審の評点(社会性W)15点加点あり(災害協定賛同業者)。

マイナンバー制度は、従業員を雇用する事業所にも管理や届出がはじまり、対応が必要となります。左記にある学習会とともに、法定福利費を確保するための学習会に参加ください。

マイナンバー制度実 社会保険未加入対策 施に向けた学習会

標準見積もり学習会

事業所に求められるマイナンバーの取り扱いに関する事務管理体制と準備についての学習会を開催します。

【とき】 10月29日(木) 午後7時00分から

【ところ】 三鷹市公会堂さんさん館3階会議室

【とき】 10月16日(金) 午後7時00分から

【ところ】 三鷹市公会堂さんさん館3階会議室

私たちが主権の政治を 政治かえる取りみははじまったばかり



シットイン非暴力の抗議行動

4年半前の福島での原発事故からはじまった「脱原発の運動」。そして、60年・70年に続いて日本の大きな運動となった「安全保障関連法案」戦争法案の反対運動は、一部の人たちと労働組合の運動という垣根を越え、学生から子育て世代、高齢者すべての個々人が政治に関わる行動を起す大きなものとなっています。

法案成立の前日、新横浜のホテルで、地方公聴会が開催され、そこではじめて「シットイン」＝非暴力（市民が暴力を使わず）、不服従の行動（抵抗・抗議の姿勢をしめず）を見て、驚きとも

武蔵野市議会で辺野古新基地の建設を強行しないことを採決 辺野古アクションむさしのが集会

【千葉陸職員記】「辺野古に新基地はいらない」日本の民主主義のために武蔵野は沖縄と連帯します」

9月27日（日）武蔵野市公会堂において、立ち見ができるほどの熱気に包まれたなか、開かれました。

主催は「辺野古アクション」むさしのの「むさしの辺野古派遣団の報告につぎ桜井国俊沖縄名誉教授の講演。桜井国俊さんは過去に二度、武蔵野市長選に候補者として活動されていた方です。武蔵野市議会では「辺野古新基地の建設を強行しないことを求める」意見書が採択



辺野古の新基地建設予定図

され、賛成した市議会議員が紹介されました。稲嶺名護市長が「はいさ」と言って登壇すると、会場からは割れんばかりの拍手が起こります。武蔵野市の意見書採択に感謝と敬意を表します。と挨拶をされたあと、戦後70年沖縄は基地問題に翻弄されてきた。権力の名のもとに住民も分断され、これ以上がまんすることはできない。翁長沖縄県知事とともに、あらゆる手法、権限を生かして最後まで頑張るのでオールドジャパンでの応援をお願いします」と訴えられました。

に、感動すら覚えました。しかし、9月19日、政府与党はどの世論調査でも50%以上の人が法案に反対し、説明が不十分・時間をかけてと回答した人が80%近くを占めた「安全保障関連法案」戦争法案を強行採決させました。与党は、「3党合意での成立」「前回選挙での政策」なので、「強行採決ではない」としているが、世論調査を見れば一目瞭然の強行採決だったことは、多くの国民やマスコミも認識はみな同じ。法案が成立した後後も、「これからはじまり」「民主主義・立憲主義を私たちのものに」など、個々人の

取りくみは大きくなってきています。10月2日の日比谷野外音楽堂での集会と、有楽町までのパレードは2万人も集め、沿道からパレードに合流する人や、沿道から声援を送る人など、普通のデモと違った雰囲気でした。戦争をさせない、だれの子どもも殺させない。行動はこれから、子ども

取りくみは大きくなってきています。10月2日の日比谷野外音楽堂での集会と、有楽町までのパレードは2万人も集め、沿道からパレードに合流する人や、沿道から声援を送る人など、普通のデモと違った雰囲気でした。戦争をさせない、だれの子どもも殺させない。行動はこれから、子ども



国会前の行動はこれからも続く

さよなら原発・さよなら戦争憲法 代々木公園に25000人

9月23日（水・祭、代々木公園において、「さよなら原発・さよなら戦争憲法全国集会」が開催され、全体で約25000人の被災者、大江健三郎さんや落合恵子さんなどの呼びかけ人や弁護士、原発告訴団、シルズなどによるリレートークが



の司会を担当していたのでとても誇らしい気持ちだったのを思い出しました。

中村分会長をはじめとする、組合員にボーリングの上手な人が沢山いたおかげです。

そんなスポーツ・遊び好きだけでなく、仕事や分会で買ったボーリング大会で2位になった表彰状が筒のなかから。

当時は支部の後継者部長として大会の表彰・懇親会

土建国保・地元でウォーキング大会

東京土建国保設立45周年記念「ウォーキング大会」が、11月8日（日）に地元・井の頭公園で行われます。

コースは、気軽に参加できる5キロと、気合をいれて参加する10キロの2コースがあります。また、45周年記念イベントとして、参加した方には、ゴール後のくじ引きで、全員にすてきな景品をプレゼント。無料で血管年齢、骨健康度、喫煙度、足指力の測定を実施。お子様も楽しめる輪投げで景品をプレゼントなども企画がされています。

参加対象は組合員と家族です。締め切りは11月5日となっていますので、ぜひ地元で開催される「ウォーキング大会」に参加してみたいかがでしょうか。



土建も原発0の横幕掲げてデモ

まだまだ人材はいる

関前分会

【関前分会・松本守史記】懐かしい物が、押し入れの中から出てきました。2005年に本部の後継者対策で行ったボーリング大会で2位になった表彰状が筒のなかから。

当時は支部の後継者部長として大会の表彰・懇親会

の司会を担当していたのでとても誇らしい気持ちだったのを思い出しました。

中村分会長をはじめとする、組合員にボーリングの上手な人が沢山いたおかげです。

そんなスポーツ・遊び好きだけでなく、仕事や分会で買ったボーリング大会で2位になった表彰状が筒のなかから。

当時は支部の後継者部長として大会の表彰・懇親会

みなさんとともに

事務所の書記を紹介 中宿 総

東京土建の書記になって24年目の中宿（なかじゆく）です。家族は妻と子ども4人の6人家族で、生まれも育ちも世田谷。アレコレやってみていい好奇心旺盛な47才です。

担当はこの機関紙を発行している教宣部と、仕事対策部です。今までいくつかの支部を異動して、今現在、三鷹武蔵野支部にいます。多くの組合員みなさんや家族のみなさんと話し、接する機会を大切にしたいと考えています。

私の母親は福島県出身で、現在も福島に戻り住んでいます。いわき市に住んでいます。もちろん、東日本大震災による被害も受け、私たちが家族が毎年楽しんでいいた夏の海水浴なども、原発事故により、出来なくなりました。親や親せきが被害にあったこともあり、「脱原



左が中宿書記 写真は尾辻カメラマン

発」の取りくみは、組合の運動とはなれても家族の取りくみとなっています。もちろん戦争法廃止は、まだ始まったばかり。みなさんと共にがんばっていきます。

たまには話題の映画でも

秋冬の話題の新作映画を、ご家族で観に行きませんか。下記以外の映画も多数あります。ご注文は早めに(下記は一例)。

- ☆トランスフォーマー イグニッション ☆エール!
- ☆エベレスト3D ☆劇場版MOZU ☆007 スペクター
- ☆プリンセスプリキュア3本立て ☆ハンガーゲーム
- ☆リトルプリンス星の王子さまと私 など他多数

◇映画・イベントなど、「メイジャー」で検索してください。
※注文や問い合わせは、支部事務所0422-55-3200まで
注：割引額は、前売券の販売価格から一律400円です。

地元で足場特別教育

今年7月からの足場の規制改正に伴う特別教育を開催します。日曜日に地元で開催します。

とき 11月29日(日)
受付開始 午前9時10分
ところ 三鷹市協同センター
受講料 4200円
申し込み 組合員で18才以上(既に従事している方)
締切 11月13日または定員40名になり次第

今月の主な講習会

足場の組立等作業主任者
【とき】①10月27・28日、②11月14・15日
有機溶剤作業主任者
【とき】11月28・29日
木造建築物の組立て等作業主任者
【とき】10月27・28日

地山の掘削及び土止め支保工作業主任者
【とき】11月11・13日
型枠支保工の組立て等作業主任者
【とき】11月19・20日
建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者
【とき】11月17・18日

今月の主な講習会をご案内します。受講場所・受講料など詳しくは、支部までお問合せを。

石綿作業主任者
【とき】11月9・10日
コンクリート造工作物解体等作業主任者
【とき】11月25・26日
酸欠・硫化水素作業主任者
【とき】11月11・13日
特定化学物質作業主任者(新スタート)
【とき】10月29・30日
職長・安全衛生責任者教育
【とき】①11月17・18日、②12月8・9日

石綿特別教育
【とき】11月17日、午後1時～
振動工具・刈払機
【とき】11月16日
自由研削砥石
【とき】11月11日
低圧電気特別教育
【とき】11月18日
玉掛技能講習
【とき】12月8～10日

家族みんなでお食育を楽しむ

米づくり体験で稲刈り

【後継者対策部発】9月20日(日)、茨城県にある...

けんの田んぼにおいて、総勢92人(23家族)で稲刈りを行いました。



親子で楽しみながらの稲刈り

「稲刈り体験は、子どもたちの行動や発言には、いつも驚きと感動を与えてくれます。まさに米づくりのテーマである『食育』。今回の稲刈りでは、すべて刈ることができないので、田んぼの奥からみんな刈り取っていくことになっていました。そのなか



おいしくなあれとおだ掛けて天日干し

事柄がありました。参加されているおとうさん、お

で、ある家族だけ違う場所を稲刈りをしていました。もしかしたら奥の方からというかなど、「どうしてここで作業をしているの」と

し、草取りもこの場所をし、たので、稲も自分たちで刈りたかったと。すべての家族が同じことをしようとするなら、すべての稲を手作業で最後まで刈らないと出来ないことではあります。最初から最後まで、自分たちのお米」として、愛情を注いでいる家族のみなさんは笑顔に包まれている。「このお米は美味しいにちがいない」。

そのほかの家族のみなさんも、稲刈りは重労働ではあります。が、本当に笑顔で収穫を楽しんでいました。

稲刈りを終え、お昼はBQ。やさとの食材を使ったBBQは、大好評。もちろん焼き手はおとうさん、おかあさんが協力して、焼きながら、次はもっと稲刈りしたいとか、会話を弾んでいました。すこし食事も落ち着いたところで、子どもたちも大きな音



どれがおいしいそうかな

若年者講習共済がスタート

どけん共済会で「若年者講習共済」II『ライカ34』と『ステップ3』が新たに始まりました。

また、新制度の創設記念のキャンペーン(ギフトカードなどが当たる)も、今年12月24日までの応募で行っています。応募券は、この拡大月間で訪問時に出来るだけお渡しするようにして

いますが、まわりきれない場合があります。その際には、役員さんからもらっていただくか、支部事務所でお受け取りいただき、期限内に応募してください。

『ライカ34』は、34才以下の組合員が、作業主任や特別教育など、対象となる講習を修了した場合に、5000円から10000円

までのお祝金が支給されます。『ステップ3』は、34才以下の組合員が、特別教育など対象となる講習を3つ以上終了した場合に、1回限り5000円のお祝金が支給される制度です。

いずれも、この10月以降で、34才までに終了した場合となります。時効もあり

とともにできる「ボン菓子」。見たことのない親子は興味津々で、「すごい」「おいしい」と、楽しんでいました。最後に、やさとの直売所によって、無農薬のぶどう狩りを楽しみ、帰路につきました。

地元では林檎酒にする聞き買いた。行く度かの歳月を経過した林檎酒は熟成し綺麗な蜂蜜色をした林檎の甘さと香りの美味しい果実酒になった。

林檎酒

【新川分会教宣部・江野宗太郎記】信州に冬の到来を告げる寒波に八ヶ岳が白く染まった。麓「白州道の駅」の片隅に袋に入った不揃いの子林檎を見つけた。



白州より「八ヶ岳」

仕事に活かす。

ライカ34 ステップアップ3 創設記念

東京士建